

「総合ビジネス科」紹介

・ 専門性をアドバンテージに ・

「木高」総合ビジネス科で育む力

“地域ビジネス人材”の育成

総 × **創**

Sou (総合力) × Sou (創造力)

総合力

適応・貢献・自立

- ビジネス社会へ適応し、貢献する力をつける。
- 職業的自立をめざす。

創造力

課題解決・自己表現・自己実現

- ビジネスの視点で自己表現する。
- 職業を通じて社会課題を見つめ、課題解決を通して自己実現を図る。

創立65年を迎える普通科と総合ビジネス科の併置校です。

Aichi Prefectural KISOGAWA High School

愛知県立木曽川高等学校

・ 併置校の特徴を生かして ・

普通科と総合ビジネス科の併置校であり、多様な興味関心を持つ生徒同士のふれあいが魅力です。学校全体の男女比のバランスがよく、男子の部活動が多様で、行事も一緒に活動し交流します。



実学としての専門科目 専門性

2年次より3つのコースに分かれて専門性を深化させます。

総合ビジネス科では、基礎基本であり教養となる普通科目とビジネスの専門科目を学びます。総合ビジネス科で学ぶ内容は、社会を経済面から支える知識・技術であり、欠かすことのできない分野です。経済や経営面からの「もの見方や考え方」を身につけることで、ビジネスやIT分野への視野が広がります。



Focus

来たれ!
「木高」総合ビジネス科
社会科学系 × 部活動
(商・経営・経済) (運動・文化)

得意な分野は何ですか? 興味・関心があって、もっと勉強していきたい分野は何ですか?
物理や化学などの「自然科学系」? 文学や言語、歴史などの「人文科学系」?
どちらもピンとこない人、商・経営・経済などの「社会科学系」を専門分野にしてみませんか

進学コース

進学希望者対象、会計と英語・国語を中心に学ぶ

[科目]

- 財務会計Ⅰ
- 政治経済
- 英語表現
- 原価計算
- 国語表現
- 英語会話

[育成をめざす人材像]

言語活用能力をもとにグローバル経済への視野を広げ、課題への探究心を持った人材。

会計コース

会計の専門性を深化、習熟度別で個々の目標に対応

[科目]

- 財務会計Ⅰ
- 財務会計Ⅱ
- 広告と販売促進
- 原価計算
- 管理会計

[育成をめざす人材像]

会計活用能力をもとにビジネス・マネジメント能力を養い、企業活動を支える人材。

情報コース

情報の専門性を深化、実習中心かつ検定にも対応

[科目]

- ビジネス情報
- プログラミング
- ビジネス情報管理

[育成をめざす人材像]

情報活用能力をもとにシステム管理能力およびプログラミング能力を養い、IT分野でビジネスを支える人材。

主体的な学び 探究

協働学習や発表の場を多く設けています。専門性と人間力は確かな強みになります。



Focus

実践科目を通して「人間力」を高めます

課題研究 課題解決能力や主体性、創造性の育成

自ら課題を設定し調査・研究、作品制作や高度資格取得への挑戦を通して、リテラシー（知っていること）をコンピテンシー（できること）に繋げる活動主体の授業です。主体的な学びで自発的、創造的な学習態度を育てます。



総合実践 模擬取引でビジネスを実践的に体験

グループ活動を通して協働する力やリーダーシップ、調整力やマネジメント力を養い、社会人基礎力を育成します。



新学力観への対応

- 知識・技術 → 検定取得を段階的な目標に設定
- 思考力・判断力・表現力 → 探究型授業で調査・研究・発表
- 学びに向かう力・人間性等 → 協働学習で社会人基礎力を育成

多様な進路希望に対応 進路

国公立大学への進学指導から地元企業への就職まで幅広く、きめ細やかに対応します。



Focus

「社会科学系」への進学にアドバンテージ

進学 商・経営・経済系への進学に有利

専門高校生対象の推薦枠を設けている大学も多く、検定取得が推薦の条件になることも多いです。また、併置校の特徴を生かし、普通科の進学補習に参加して学力を伸ばすこともできます。例年、6割から7割近い生徒が進学します。



新大学入試への対応

- 推薦入試でも学力試験必須 → 普通科進学補習に参加
- 高校の活動を多面的・総合的に評価 → 探究型授業や検定補習、部活動
- 面接や作文によるアウトプット重視 → 小論文の個別添削指導

就職 企業とのマッチングを重視

就職では企業とのマッチングを重視し、地元優良企業の事務職で内定をいただいています。



検定取得

検定取得は定着をはかる「ものさし」であり、進路選択の幅を広げる「パスポート」です。段階的に目標を持って取り組むことで「できること」を増やし、自信につなげます。

会計

簿記はビジネスに携わる人にとって必須の知識です。

<簿記系>

- 日商簿記検定
- 全商簿記実務検定
- 全商会計実務検定

<珠算・電卓系>

- 全商珠算・電卓実務検定

情報

パソコンの利用技術やプログラミングはこれからの時代に求められる技術です。

<情報系>

- ITパスポート試験
- 全商情報処理検定 (ビジネス情報部門)
- (プログラミング部門)
- 全商ビジネス文書実務検定

英語

グローバル化する世界にむけて英語(4技能)を磨いていきましょう。

<英語系>

- 全商英語検定
- GTEC(4技能)
- <その他>
- 全商商業経済検定
- 秘書検定

自律

"人間教育"は「社会人基礎力」に

- 一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力
- 疑問を持ち、考え抜く力
- 多様な人々とともに、目標に向けて協力する力

自立

"専門性"は「職業人基礎力」に

- ビジネス基礎力(モラル、マナー、コミュニケーション力)
- 会計処理能力および会計情報活用能力
- 情報処理能力および情報活用能力
- 言語活用能力およびプレゼンテーション能力